

富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 ニュースレター



資料館内部の展示品の紹介 その15

富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 館長 伏見 裕利

2017年3月
★ 第18号 ★

現代中国医学の分類法に基づいて分けられた生薬の展示について解説します。今回ご紹介するのは、止血薬です。

止血薬として分類される生薬として、資料館では蒲黄(ほおう)、三七人參(さんしちにんじん)、側柏葉(そくはくよう)、艾葉(がいよう)、茜草根(せんそうこん)、茅根(ぼうこん)を展示しています。

蒲黄は、ガマ科のガマなどの花粉です。古事記の「因幡の白兔」の伝説として蒲黄が使用されています。兔がワニをだまして海を渡った際に、最後にだまされたのがばれてしまい、身体の皮を剥がされてしまった後、塩水にあたって風に吹かれたため、皮膚が赤く腫れ上がってしまったのを治療するため、大国主命(おおくにぬしのみこと)は先ず、身体を真水で洗い、その後でガマの花粉を敷き詰めた上で寝転べば治ると言っています。この説話が日本で初めて薬物治療が記載された例とされています。ガマの花粉には止血作用が知られており、薬効とお話が合っています。

三七人參は、ウコギ科のサンシチニンジン(三七)の根に由来します。中国雲南省が三七人參の産地として有名です。三七人參は朝鮮人參と同じウコギ科の植物で、中国では三七の名前で知られています。薬効としては、人參としての作用とともに、打撲など、漢方で瘀血と呼ばれる血の病に使用されることがあります。

側柏葉は、ヒノキ科のコノテガシワの葉に由来します。収斂、鎮痛、止血薬として、吐血や鼻血などに用いられます。コノテガシワの成熟した球果から種仁をとって乾燥したものは「柏子仁」と呼ばれ、滋養、強壯薬として、煩熱や失眠、健忘などの症に応用されます。

艾葉は、キク科のヨモギなどの葉を乾燥したものです。ヨモギの葉は、収斂性止血、鎮静薬として用いられます。また春先のヨモギの若葉をつんで蒸した

ものは、草餅に使用されます。さらにお灸に用いる「もぐさ」は、ヨモギの植物の葉の毛をかき取り、綿状の塊にしたものです。葉の裏面にできるT字形を呈する毛がもぐさで、毛の含有量により種々の品質のものががあります。品質の良いもぐさは火をつけた時の火の回り方が一定で、煙の香りも落ち着いていて良いものです。

茜草根は、アカネ科のアカネなどの根を乾燥したものです。茜草とも呼ばれ、古来、赤色の染料として用いられています。

茅根は、イネ科のチガヤの根茎を乾燥したものです。初夏になると、しばしば道路の路肩沿いに生えているのを見かけます。



- 目次
- 資料館内部の展示品の紹介 その15
 - イベントニュース
「第31回一般公開」報告

第31回 一般公開を開催しました

10月23日(日)に、第31回一般公開を実施しました。毎年、秋の一般公開では、特別公開講座を開講しています。今年も薬剤師であり日本人唯一のチベット医でもある小川康氏(「森のくすり塾」主宰)をお招きして、第4回目となる「東洋医学講座」を企画しました。山で遭難しても生き残る術を知るという小川氏が、チベット医学の絵解き講座をベースに、「チベット医学の世界～遊牧民に伝わる医学のタイムカプセル」と題してお話されました。時折、富山弁を交えて、どなたにも聞きやすく、お話いただきました。当日は、71名の方にご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

公開日時 : 平成28年10月23日(日) 10時～16時
ガイドツアー : 13:30～、14:30～
 (各回1時間程度)
場 所 : 和漢医薬学総合研究所横
 民族薬物資料館 2階

アクセス

バス

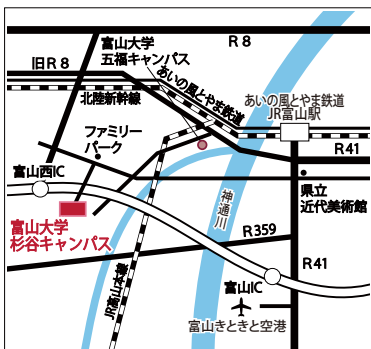
- 富山きときと空港から富山駅まで約20分、富山駅からバスで約30分。

タクシー

- 富山駅から約20分。
- 富山きときと空港から約20分。

自家用車

- 北陸自動車道「富山西IC」から約4分、「小杉IC」から約20分。



第31回 富山大学 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 一般公開 同時開催

— 東洋医学講座 —

「チベット医学と薬草」
平成28年10月23日(日)
10:30～12:00



講師：小川 康氏

「森のくすり塾(長野県上田市)」主宰。富山県出身。東北大学薬学部卒、薬剤師、チベット医。2009年チベット文化圏以外の外国人として初めてチベット医に認定される。現在は日本で薬草観察会、講演、執筆活動を行うとともに、チベット、ブータンへ薬草スタディツアーを開催している。

※先着50名様に香木をプレゼント



富山大学 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館

Address 〒930-0194 富山県富山市杉谷2630
 E-mail museum@inm.u-toyama.ac.jp
 TEL/FAX 076-434-7150
 U R L <http://www.inm.u-toyama.ac.jp/mmmw/index-j.html>

リサイクル適性(A)
 この印刷物は、印刷用の紙へ
 リサイクルできます。